

事業概略書

事業名	精神病床に入院している難治性患者の地域移行の推進に向けた支援の在り方に関する実態調査について
事業目的	<p><u>はじめに</u></p> <p>難治性統合失調症患者の地域移行は極めて困難であるが、以下の専門的な治療手段を組み合わせることによって精神症状を軽減・消失させ、地域での生活を実現できるケースの少なくないことが知られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロザピン ・ 持効性注射剤 ・ m-ECT ・ アウトリーチ <p><u>現 状</u></p> <p>これらの専門的な治療手段すべてを効果的、効率的に実施している医療機関は少ない。</p> <p><u>目 的</u></p> <p>前述の専門的な治療手段を実施する上での阻害要因を明らかにし、方策についても検討する。</p> <p>特に普及が遅れているクロザピンに関しては、本調査以外の調査研究の分析も行い、現状を明らかにするとともに政策提言を行う。</p>
事業概要	<p>難治性患者の地域移行のための手段である、①クロザピン、②持効性注射剤、③m-ECT、④アウトリーチの実施状況について、医療機関に対してアンケート調査（有効回答 185 施設）及びヒアリング調査（13 施設）を行った。</p> <p>特にクロザピンに関しては、本調査以外の調査研究の分析も行っている。</p>
事業実施結果及び効果	<p><u>主な阻害要因</u></p> <p><u>クロザピンについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療スタッフおよび患者・家族への情報が不足 ・ 血液内科との連携が困難 ・ 行政誘導の欠如 ・ 厳しい CPMS 基準 <p><u>m-ECT について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 麻酔科医の確保が困難 <p><u>アウトリーチについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動に関する問題とスタッフ不足 <p><u>結 果</u></p> <p>本調査では、クロザピン、m-ECT、アウトリーチの実態は地域の実情と医療機関の特性によって大きく異なることが明らかとなった。それを踏まえて、地域の実情に応じてこれらの治療手段を組み合わせ活用できる医療機関ネットワークを促進するモデル事業を提案する。</p> <p><u>効 果</u></p> <p>本報告に基づくモデル事業により、難治性患者の地域移行に弾みがつくことが期待される。合わせて、都道府県保健医療計画で難治性患者への取り組みを必須の記載事項とすることも提案し、行政の関与を促している。</p>

事業主体	郵便番号：〒102-8556 所在地：東京都千代田区紀尾井町3-27 剛堂会館6階 法人名：公益社団法人 全国自治体病院協議会 電話番号/E-MAIL：03-3261-8567 / kensyu@jmha.or.jp
------	---

(注)

- 1 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するため、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
- 2 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途実施した事業についての成果物を必ず提出すること。
- 3 「事業目的」、「事業概要」、「事業実施結果及び効果」について、それぞれ250字程度で簡潔に記入すること。